

# 令和5年度 清和幼稚園 自己評価表

## 1. 本園の教育目標

- 1 恵まれた自然環境を生かし、明るく健康な体を育てる。
- 2 基本的な性格習慣を身につけ、のびのびとした活動の中にきまりを守り、友達と仲よく遊べる子供を育てる。
- 3 自主的精神に充ち、個性的で創造的な子供を育てる。

## 2. 本年度の重点目標

- ①恵まれた自然環境を生かし、明るく健康な心と体を育てる。
- ②自主的精神に充ち、個性的で創造的な子どもを育てる。
- ③保護者と協働的な関係性を築く。

## 3. 本年度の評価項目の達成状況及び取り組み状況

重点目標	評価項目	評価指標 及び 評価結果						取り組み結果、成果などに関する意見、コメント	
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標	成果結果		総括評価
① 恵まれた自然環境を 生かし 明るく健康な心と 体を育てる	自然との関わりを 大切に する	1	身近な自然に親しみ、幼児と一緒に遊び、共感する	2.8	1	幼児は積極的に自然に関わって遊ぶようになった	2.8	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に応じて、野菜やヒヤシンスの栽培など無理なく保育に取り入れ、植物の生長や変化に気付き共感する事が出来たが、幼児の関心や興味を継続させるには、保育者の意識や関わりが不可欠だと感じた。</li> <li>・ピオトープの小さな生き物や虫、裏山の植物等、興味のある物を図鑑で調べたり、飼育コーナーを設定し、クラス全体で関わり、共有できる場を作ったが、活動は単発で終わってしまう事も多く繋がりがりや広がりを意識して、より関心が深まるように工夫、研究していく事が課題である。</li> </ul>
		1	裏山、ピオトープ、田んぼ、畑など季節に応じて保育に取り入れる		1	季節の移り変わり、自然の事象や変化に気付き、表現したり、伝えたりするようになった			
		1	生き物の飼育、植物の栽培など、生長を観察して楽しむ		1	身近な生き物に関心を持ったり、野菜や花の栽培、生長を楽しむようになった			
		1	自然との関わりの中で、興味を持ったり、不思議に思った事を話し合ったり、図鑑等で調べられるように準備する		1	幼児が調べたり、集めたり、試行錯誤したりしながら、自然環境に関わるようになった			
② 自主的精神に 充ち 個性的で 創造的な 子どもを 育てる	幼児が 意欲的に 遊びを 進める ための 環境の 構成	4	幼児の発想や思いを受け止め、それを表現出来るような素材の準備や提案をする	3.0	4	幼児が新しい遊びを考え出したり、自分から環境に働き掛けたりするようになった	3.1	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「先生、これしよう！」に対して「ちょっと待ってね」「○○してからね」と一人一人の要望にすぐに答えられなかったり、余裕がなかったりする事もあった。又、準備に時間がかかり、幼児の興味のスピードに合わせられない事もあり反省、課題となった。</li> <li>・1学期は生活の中で、幼児の姿から興味や好む遊びを、2学期は友達と関わるきっかけや広がりが見られるような遊びや活動を、3学期は幼児の遊びのレベルや個人差も出てきたので、それにに応じて内容の設定や関わりを心掛けた。</li> <li>・2学期後半になると、どうしたら考えた遊びを実現出来るのかを考え、必要なものを準備していく姿も見られるようになった。</li> </ul>
		3	幼児の活動の状況に応じて環境の再構成を行う		3	楽しんでいた遊びを繰り返したり、発展したりするようになった			
		2	幼児の興味、関心に合わせた遊びが出来るよう保育室の環境を準備する		2	好きな遊びを見つけて遊ぶようになった			
		1	幼児一人一人をよく観察する		1	すぐに遊びはじめる幼児もいれば、友だちの遊びをぼんやり見ている幼児もいる			

③ 保護者と協働的な関係性を築く	保護者との連携を深める	1	保護者に積極的に的確な情報を発信する	3.0	1	園行事や活動への理解や積極的な参加が増えた	2.8	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通してクラスの保育の取り組みや幼児の姿をクラス便りでタイムリーに伝えるようにし、保育への理解や安心感を持ってもらえるように努めた。しかし、日々の保育の準備や雑務と並行しての発信には大変さもあった。</li> <li>・1日先生体験を通して、保護者についても知る良いきっかけになってよかったが、連日となると負担に感じる事もあった。</li> <li>・幼児の育ちについて相談を受ける事も多くなったが、その全てに答えるには力不足を感じた。今後も一緒にサポートしていけるように自らの勉強が必要だと感じた。</li> <li>・懇談会では普段、中々ゆっくり話せない保護者と話す事が出来、幼児の様子を共有し合える良い機会だと感じる。</li> </ul>
		1	1日先生体験を実施し、保護者に園生活、保育者の仕事を体験してもらう		1	園を身近に感じ、保育者との信頼関係や幼児理解が深まった			
		1	懇談会等で幼児の育ちを共有する		1	幼児の育ちや家庭での様子を伝えたり、相談に来る保護者が増えた			
		1	日々の連絡帳やクラス便り等で、幼児の育ちを伝える		1	園での活動や幼児の育ちに関心を持つ保護者が増えた			

#### 4. 総合的な評価結果・まとめ

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は北九州市の学校関係者評価アドバイザー事業を活用し、重点的に取り組むべき目標や計画、課題について、全職員が認識し、自己点検・自己評価に取り組み、自らの保育や計画の策定にを振り返ることで、段階的に改善することが出来たと思われる。来年度以降も続けていき、質の向上に努めたい。</li> <li>・各項目に対して新たに発見された課題もあるため、今後の自己評価に反映させて、課題の解決に努めていく。</li> </ul>

#### 5. 学校関係者評価委員による評価及び意見

・清和幼稚園は恵まれた自然環境の中、都会では経験出来ないような四季折々の自然体験、活動が出来るのが大きな魅力である。今回の評価結果があまり高くなかったのは少し勿体無い。次年度の課題となるのではないだろうか。

・新たな取り組みとして、「1日先生体験」をし、保護者にも幼稚園に関心を持ってもらい、開かれた関係性は是非、今後とも継続してほしい。

学校関係者評価委員 \_\_\_\_\_ 印

学校関係者評価委員 \_\_\_\_\_ 印

学校関係者評価委員 \_\_\_\_\_ 印

学校関係者評価委員会実施日 令和6年3月23日